

新野東小学校（令和8年度）



中原さんの活け花



新野東小HP

輝く目：生き生きと目を輝かせ、喜びに満ちた人間教育の学校

第6号 令和8年10月5日 発行

空気が澄み、一年中で最も月の美しい季節となりました。さて、10月8日（木）は前期終業式、13日（火）は後期始業式です。秋休みは4日間ですが、前期の学習や生活を振り返り、後期の目標を自分で決める充電期間にあててほしいと思います。閉校まで半年となりました。子どもたちが主体性を発揮し、有終の美を飾ることができますように、ご支援・ご協力よろしくお願いします。

○9月27日（日）新野東小学校最後の「ふるさとのまつり」

夕方からスタートしたPTA主催「ふるさとのまつり」、保護者の皆様には、祭りの計画・準備から運営・片付け・会計など、大変お世話になりました。あいにくの雨でしたが、地域の方や卒業生、新野小学校の皆さん、学生ボランティアの方々などが、たくさん参加してくださって、本校の伝統行事である「ふるさとまつり」を笑顔で楽しむことができました。

一番うれしかったことは、子どもたちが主体で開催したドッジボール大会です。「わくわくキラキラ思い出づくり」の一環として、子どもたちが「たくさんの人とドッジボールを楽しみたい！」とホワイトボードミーティングなどの手法を使って話し合ってきました。自分たちだけでなく、みんなも楽しめるようにするにはどう工夫すればよいか様々な意見を出し合い、考えが違うときは、さらに話し合って折り合いをつけてきました。人任せでなく一人一人が思いや考えを発表しました。そして当日、先生や大人に頼らず、大勢の参加にも動揺しないで、進行役をしたり、ゲームの内容を説明したりする子どもたちの姿がありました。本当に素晴らしいと思いました。

また、元気連の皆様のご協力で阿波踊りを披露したり、保護者の方や民生児童委員の方、地域の有志の方のおかげで、かき氷やたこやき、焼きそばやポテト、焼き鳥などのバザー、くじ引き、ストラックアウトや射撃、輪投げやペットボトルの積み上げなどゲームコーナーで、食べて遊んで大賑わいの心に残る「ふるさとのまつり」となりました。本当にありがとうございました！

原田会長さんの開会宣言 → 子ども主体のドッジボール大会 → 阿波踊り → バザー他はうらへ



○「ふるさとのまつり」バザー他



○9月18日（金）新野中学校区人権教育研究大会

～阿波木偶箱廻し保存会の辻本先生、中内先生、南先生をお迎えして「幸せを運んだ人形廻し」～



新野中学校区人権教育研究大会におきまして、阿南市教育委員会研究所広瀬様、宮崎公民館長様はじめご来賓の皆様、町内の先生方、地域や保護者の皆様にご参会いただき、感謝申し上げます。全学級の公開授業では、2年：認め合い支え合う仲間「2年1組あらひがの木をつくろう」、3・4年：たがいにとめあつて「何であかんの」、5・6年人権について考えよう「みんなの学級」をテーマとして人権学習を行いました。どの学級も少人数のよさを生かして、どの子も身の回りの差別やいじめについて自分事として意見を発表し、お互いの人権を大切にしようと話し合うことができました。阿波木偶まわし保存会の辻本一英先生のご講演では、徳島県のすばらしい伝統文化である「三番叟まわし」が、戦争や子どもを巻き込む差別によって姿を消してきたことを知りました。その「三番叟まわし」「箱まわし」を困難を乗り越えて継承し、全国各地、世界各国でご活躍なさってきた中内先生、南先生の見事な人形廻しに胸を打たれました。本校は来年3月に閉校になりますが、61名の会場の皆様とともに、かけがえのない9名の子どもたちに、門付け・福分けをしていただいたことは、この上ない幸せな体験だと喜んでいきます。

